

平成30年度 愛知県進路指導研究協議会からの要望事項（まとめ）についての回答
一般社団法人 愛知県専修学校各種学校連合会

1 AO入試について

今後とも、愛専各の「AO入試に関する自主運用基準」に基づいた適切な入試の実施をお願いします。

ご期待に沿えますよう会員校に周知いたします。

AOと公募推薦との区別なく、金銭的免除特典(選考料や入学金の一部免除など)を同じように実施していただきたい

このようなご要望があったことは会員校に周知いたしますが、実施については各校の判断とさせていただきます。

「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告」では、『出願時期も考慮し、AO入試「出願時期：9月以降（現行：8月）」「合格発表時期：11月以降」とする。』とあるが、貴連合会では変更を検討しているのか教えていただきたい。

本会の規定を「自主運用基準」としておりますように、専修学校の場合は、大学等のように所轄官庁が明確なルール作りを行ないという事情があります。本件に関しても、AO入試の時と同様、同じ高等教育機関として大学等の動向を視野に入れ、時代にマッチした規定に改善していく姿勢は変わりません。

2 広報について

オープンキャンパスで、半ば強引な誘導で生徒を惑わすような勧誘をやめていただきたい。

このようなご要望があったことを会員校に周知いたします。

AO入試などで「定員になり次第締め切り」などと焦りや不安のみを高める説明会や本人が十分理解していない中でのエントリーの実施などをやめていただきたい。

AO入試は各校の「アドミッションポリシー」に基づいて実施されるものですが、このようなご要望があったことを会員校に周知いたします。

【参考】

早期の生徒確保や合格定員枠と関係するのであろうが、「指定校、AOでないと合格しない」とか、「ほぼ9月で締め切られる」など、過大な表現でもって言われると生徒は不安になり焦ってしまう。

学生への情報提供が「焦りや不安を高める」というご意見がある一方で、情報提供がな

かった故に「入学の機会を逸した」「学校生活になじめなかった」というご指摘もあります。各校の状況を踏まえ、実態に沿った適切な情報提供ができるよう会員校に周知いたします。

3 継続依頼事項

学校訪問の際には、直接に担当する教員が対応させていただくことが最も良いので、事前に電話などでアポイントをいれていただきたい。

訪問時の事前連絡については、機会あるごとに会員校に周知いたしております。未だ改善されていない学校があると指摘があった旨を知らしめ改善に向かうよう徹底いたします。

取得できる資格の合格率や卒業後の進路状況を公開していただきたい。

「職業実践専門課程」の申請以降、認可校の情報公開は行政からの指導もあり飛躍的に改善されています。HPでご確認いただければ、ご希望の情報はほぼ網羅していると考えます。そういった情報公開の積極性も学校を判断する材料の1つとして頂ければ幸いです。なお、情報公開が進んでいない学校については、そういったご指摘・ご要望があることを周知いたします。